



精神保健福祉士 取得しました!



昨年（令和4年）3月に社会福祉士を取得後、より専門性を高めることや自信をつけるために、令和4年4月に東京未来大学福祉保育専門学校の精神保健福祉士短期養成通信課程に入学し、9ヶ月間、スクーリングや通信学習に取り組みました。そして、今年2月に試験があり、無事に精神保健福祉士も取得することができました。社会福祉士の資格取得を目指していた時と同様に仕事と家庭、勉強を両立していくことはとても大変でしたが、最後までやりきることができました。応援してくださったみなさんや一緒に奮闘した同志に感謝いたします。ありがとうございました。

（文責 指導員 高木春佳）



新人職員紹介



障害者就業・生活支援センター
就業支援担当 吉田 翔
（よしだしょう）
好きな食べ物：お寿司
趣味：車、温泉巡り、
サッカー観戦
気になっていること：八街のグルメ情報



佐倉キャンパス
指導員 東 千秋
（ひがしちあき）
好きな食べ物：キノコ、チーズ
趣味：読書とライブ
気になっていること：
推しの活動と観葉植物の成長



明朗塾
指導員 金澤朋美
（かなざわともみ）
好きな食べ物：バナナアイス
趣味：写真、お酒を飲む
気になっていること：
居酒屋 開拓



明朗塾
指導員 坂井章子
（さかいあきこ）
好きな食べ物：濃厚なラーメン
趣味：バレーボール
気になっていること：顔のしわ、
たるみが気になっています。



経営者の死生観と価値観を 文章に転写する



社会福祉法人光明会
理事長 小澤 定明

経営方針書への思い

光明会の経営方針書は、法人理念をはじめ組織と事業の在り方を示す最も重要な文書です。目には見えない創業者の信念とCEOの経営理念を言語化し、事業の戦略的な方針を目に見える文書にして法人職員と共有できるようにするためにも、経営方針書を毎年欠かさず作成していくことを求めています。

しかしながら、経営方針書を作成すればそれですべての法人職員に経営方針が理解浸透するという便利なものではなく、むしろ経営方針を作成した後も、経営者はたくさんの汗をかき続けなければなりません。経営方針書は経営者の死生観と価値観を乗せる器でしかないのであり、経営方針を伝えていこうとする情熱に比例して、法人職員は経営方針に共感し、日々の職務の中に落とし込みでいくことが可能となるのです。

経営方針を伝道する理念共有会

経営方針書はCEOに作成させていますが、特に今年度の経営方針書については法人職員にどのように伝え、実現していくのかについて課題を与えています。そこでCEOが出してきた一つの提案が「理念共有会」でした。理念共有会とはCEOが法人総務部長や人財創造部リーダーとともに各部署や事業所に出向き、CEOが自らの思いと情熱とともに法人理念を説明し、その後のグループワークを通じて職員一人ひとりが自分事として捉えていただく機会であります。この理念共有会は半期ごとに開催する計画であり、上期は法人理念の共有を中心としましたが、下期は経営方針の共感の度合いや経営方針と実態との乖離が生じていないかについて確認させるため、職員との意見交換の場とさせたいと考えております。

この後にはCEOから令和5年度光明会経営方針書における力点を説明させますので、どうぞ最後までお読みください。

創業者信念を羅針盤に 令和5年度光明会経営方針書における重点事項



常務理事 小澤 啓洋
(CEO・最高経営責任者)

無限資産価値を高める支援実践

光明会は創業者である小澤定明理事長の「何があっても見捨てない」という日本人としての人情あふれる行動意志を経営の原点として継承し、すべての法人職員が有限資産価値（事業規模や収入など）ではなく無限資産価値（法人職員と顧客を含めた地域社会からの信用・信頼の総和）を向上させるべく卓越した支援実践を日々積み重ねていくことが使命であると整理しました。

令和5年度は光明会が公明正大で無矛盾な法人経営の基に社会の公器としてその役割・使命を果たす決意と覚悟を下に経営方針を作成しました。前回のMeiroh94号では新たなスローガンや行動指針5則についてまとめましたので今回は重点取組事項についてご紹介いたします。

言葉を敬い言葉の教養を重んじる

古来日本では言葉には不思議な力が宿り、発した言葉どおりの結果を現す力があると信じられていました。人は言葉のもつ不思議な力を「言霊」と呼び信仰しました。現代社会においては日本が培ってきた美しい言葉は軽んじられ、社会や職場の中にも軽率な言葉が飛び交っています。顧客の利他的行動を引き出す支援をわれわれ法人職員は古来より紡がれてきた言葉の持つ力を敬い、清く正しく美しい言葉を身につけなければならないと整理しました。全職員研修「和心探訪」においてもこの点を踏まえた企画とさせました。

法人管理組織・役割権限の整理

法人管理組織について機能面から整理し新たに3つの組織を設置しました。1つめは入所施設の既成概念に捉われず顧客のありたい生活をデザインするため生活介護事業と施設入所支援事業の一体化を追求する組織として「ライフデザイン課」を新設したこと、2つめは次代を担うリーダーおよび支援探究を図るため「サービス管理責任者サポートユニット」を新設したこと、そして3つめにかねてから取り組んできた働く態度の習得する支援の確立に向け「働く力向上委員会」を新設し組織的に取り組むこととしました。

また職位・役職と役割に応じた職務とその権限についても整理しました。役職者には職位ごとに固有の役割を明確にしました。特にユニットサポーターおよびサービス管理責任者は職位上の役職者ではなく、支援計画の策定と支援実践を遂行する重要な役割と整理しました。管理者を含むすべての役割は法人職員が顧客のありたい人生を創造する協働の支援の実現に結実していくものであります。

法人中期計画・第二創成プロジェクトの完結

第二創成プロジェクトにより不確実な事業環境に適応し、かつ組織規模拡大を支えるCEOを中心とした組織マネジメントシステムの確立と新たな社会福祉法人の使命に立脚し社会福祉連携推進法人光る福祉の設立に参画しその構成社員となりました。

令和5年度から光明会の第2クォーター（第2期）を迎えるにあたり、創業理念に永遠性を持たせ次代を担う法人職員の思想的基盤となる「ABOUT HIM」を株式会社S・Yワークスの支援を受け完成させるとともに、引き続き令和4年度から法人事業を支える組織マネジメント体制と人材教育体制を設計するために設置したイノベティブ・サポートセンターのさらなる強化とその有効性を検証します。

またこの第二創成プロジェクトにおいては、光明会が誕生した八街市大字八街字元光明坊の歴史的意味を探る研究を進めてきました。この研究は第2クォーター（第2期）においても継続して郷土史研究を進めることとしました。

令和5年度以降の事業拡大の方向性と検討体制（抜粋）

①「明朗塾」の生活介護事業の顧客の増加に伴い、障害福祉サービスの定員60名から80名に、20名分の定員増を追求します。

就労継続支援事業B型では廃棄野菜のパウダーやピューレ化などの商品化を研究します。

また記録の効率化を図るため、ICT活用体制を早期に確立させます。

さらに行動障害を含め重度化や高齢化する顧客の支援充実のため他の法人との交流事業を仕組化します。

②「インディペンデンス」では、顧客のありたい地域生活（家族一体型やパートナー型）の研究とグループホーム生活後の独立生活スタイル試行と合わせ、グループホームの住居を1棟ごとに増設し職員配置と定員充足を確実に進めます。住居の増設は空き家を優先的に活用します。

③「就職するなら明朗アカデミー」では顧客向けの資格取得事業においてMicrosoft Office Specialist試験会場認定を取得します。また八街キャンパスに新たな支援実践のラボラトリー機能を持たせ、就労継続支援事業B型、自立訓練事業や放課後等デイサービス事業の指定の有効性について追求します。

令和6年4月に創設される「就労選択支援事業」については千葉県社会就労センター協議会が主催する就労選択支援事業検討ワーキンググループと連携し、就労選択支援事業の在り方と就労アセスメントについて体系的な方法と有効性を研究します。

④「障害者就業・生活支援センター」では令和6年4月からの「障害者雇用相談援助助成金」の支給開始を見越して、医療・福祉・労働関係行政等との連携を強化し、障害者雇用相談支援に関する支援手法を確立させます。

⑤法人職員の専門性向上を保障する階層・事業別のキャリアデザイン（研修）体系を有効化させます。

実践研究レポートの作成と発表の場として「光る福祉アワード」へのエントリーを奨励します。

障害者就業・生活支援センター事業および就労移行支援事業の職員は、徹底して就職支援・雇用支援に関する卓越した支援技量を身につけさせるため、学習と実践を繰り返し、就職支援・雇用支援の標準化したプロセスを確立させます。就業等基礎研修の受講に留まらず、就業支援実践研修、就業支援スキル向上研修、さらには訪問型職場適応援助者養成研修等を受講させます。

千葉県社会就労センター協議会と連携し、社会福祉法人武蔵千川福祉会 理事長菅野敦氏から指導を受け、就労継続支援事業B型および生活介護事業の職員は「働く態度」の観点からの支援の習得に努めます。

すべての職員がチャレンジャー、そしてサポーターとして互いに支援し合う関係性の中でよき人間性に基づいた卓越した支援技量の習得を目指すため、あしたのチームのゼットイ評価システムを活用します。

⑥ワイン用ブドウの栽培に加えて、構造改革特別区域法による酒税法の特例措置を活用したワイン醸造、ワイナリー建設等の事業推進プロジェクトを始動させます。

第24回 かえってきた!!

なつ しょうかい
夏まつり紹介ページ
をチェック!!



かむ ぼっく なつ
～ COME BACK! めいろうの夏! ～

なつ じっし もくてき
めいろう夏まつりの「実施目的とテーマ」について

しゃん
※写真・イラストはイメージです。

これまで光明会の事業開始記念にあわせ、毎年8月1日にめいろう夏まつりを開催してきました。令和元年を最後に、新型コロナウイルス感染症の蔓延により開催中止を余儀なくされましたが、この間も夏まつりや八街最大大花火再開を望むたくさんの声を頂戴し、皆様の期待の大きさを再認識いたしました。

第24回を数える今年のめいろう夏まつりは、第20回から止まっていた「時」を再び刻むとともに、次代を担う地域の子たちと障害がある方が繋がり、それぞれが無くてはならない存在として支えあえる『真の地域共生社会の実現』に向け、子たちの夢づくりへの貢献と、年齢、国籍、性別、LGBTQ、高齢者、障害者等を問わず「あらゆる人がともに楽しめる」配慮があるユニバーサルなイベントになるよう開催準備を進めていますので、どうぞご期待ください。(地域共生社会推進本部 本部長 小澤孝延)

み
見どころ!



やちまた おおはなび
八街!! 大花火!!



ダンス!!

き
聞きどころ



クルマdeピアノ!!



はくりょく わだぬこ
迫力の和太鼓!!



クルマ de ピアノ

どうが
動画
しょうかい
紹介



うご
動きどころ

た
食べどころ

動画
しょうかい
紹介



モルック



ポッチャ



※出店内容は変更の可能性あり。

大盆踊り!!



焼きそば・牛串焼き

あめ細工・ジェラート など…

※写真・イラストはこれまでの開催した内容です。



開催日時

令和5年8月7日 (火)
16:00~21:00



夏まつりタイムスケジュール(6月時点での予定)

メイン 広場 (周年セレモニー等)	
16:00	和太鼓演奏：朝日太鼓 & 八街和楽太鼓 チーバくん&ピーちゃんナツちゃん
16:20	ダンス：ダウン症を持つ子と親の会ジュピター
16:40	合屋祐奏さん&クルマdeピアノ
17:00	前田優奈さん&クルマdeピアノ
17:30	主催者御礼挨拶 & 24周年セレモニー チーバくん&ピーちゃんナツちゃん
18:30	盆踊り：橘の会・舞踊連盟の皆さま・朝日太鼓 & 八街和楽太鼓 チーバくん&ピーちゃんナツちゃん
20:00	八街最大大花火打上げ!
20:45	チーバくん&ピーちゃんナツちゃん 練歩き

withコロナの時代に向けて3年ぶりに動き出す「めいろう夏まつり」への思い

今年3年ぶりに『めいろう夏まつり』の開催が決定し、またあの暑い夏が来るのかという思いです。めいろう夏まつりは、八街市で唯一打ち上げ花火が上がる大きなイベントです。地域の方々に楽しんでいただけるように企画準備を進めています。めいろう夏まつりを通して、職員と障害のある方が、『地域の方々とふれあう機会』を設けることにより、地域共生社会の実現の一助になればと考えています。

また開催していなかった期間に多くの職員が入职しており、一度もめいろう夏まつりを経験していない職員も多くおりますので、全職員が一丸となって、夏まつりを作り上げ、そして職員同士の絆を深め、帰ってきた「めいろうの夏」を盛り上げていきたいと思っております。(実行委員長 藤井勇二)

- ◆会場◆社会福祉法人光明会 明朗塾
- ◆その他・お知らせ◆車いす対応トイレ・駐車場あり
- ※八街大花火へのご協賛は、随時受け付けています。
- 電話番号 043-442-0101 (明朗塾)

卓越した専門性でお客様のありたい人生をデザインする！

2023年度社会福祉法人光明会 各部・事業所・室の管理者の新年度挨拶です。

今年度も何卒よろしくお願ひいたします。

障害福祉事業部

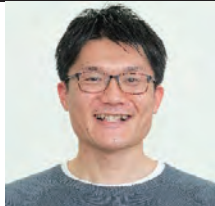
地域生活支援拠点・事業サポートユニット

明朗塾 施設長 山本 樹 (グランドユニットサポーター)



令和5年5月8日以降、新型コロナウイルスは2類から5類に移行し、法律上隔離の必要性はなくなりました。このため明朗塾ではマスクのない生活が戻りつつあり、外出制限をはじめ、行動の制限をほぼ全て解除することができました。これを機に、コロナ過の支援の在り方については、一斉展開型のサービスに留まらず、障害特性に応じた個別性の高い支援に変容していくことが求められます。古いことわざに「禍(災い)転じて福と為す」という言葉があります。これは、災いに襲われても、それを利用して幸せになるように取り計らうことを指しますが、まさに我々支援者に強く求められる言葉と胸に刻み、各事業管理者が責任をもち、職員一同力を合わせ顧客の幸せに尽力いたします。

明朗塾
副施設長 幸島 繁



今年度から明朗塾では、入所施設の既成概念に捉われず、お客様のありたい生活をデザインする「ライフデザイン課」を新設しました。副施設長とライフデザイン課長を兼任する中で、お客様のありたい生活をデザインするために、職員が卓越した専門性の習得に努め、実践する集団となり、福祉の常識にとらわれない新しい価値を創造してまいります。

おいしい課
料理長 松本幸一



お客様に食事に興味を持ってもらい、楽しんで食事をしてもらえるように、今年度は選択メニューを増やすことや、新メニューの開発・提供に力を入れていきます。栄養士には食事に関する悩みごとがあれば遠慮なく相談してください。適切な栄養管理のもと皆さまが安心して食事をできるようにおいしい課職員一丸となり、頑張っております。

インディペンデンス
事業管理者 文違明香



今年度は、お客様のニーズである個別性を重視するサテライト等を増設することと、お客様の希望する時間帯に合わせた相談体制の構築を目指します。また、食事もお客様と一緒に作る機会を増やし、皆さまが団欒できる環境を作っていきます。皆さまの生活する力を育み、安心して生活できる環境作りを目指します。

相談支援事業所MEI
事業管理者 小倉京子



MEIでは相談支援専門員がお客様一人ひとりの声に耳を傾け、細やかな心配りができるように丁寧な支援を目指してまいります。またお客様への支援はサービス提供事業者のみならず、複数の機関によるチーム支援の視点が重要です。これまで以上に多職種、他機関と連携していけるよう努力いたします。

八街市障がい者就労支援事業所
明朗ワークス
事業管理者 岩澤勇二



精神障害のあるお客様の支援においては、特に意思決定支援や虐待防止など権利擁護の観点に重きを置き、取り組んでまいります。また、お客様に支給する工賃についてもお客様の献身的な働きに報いられるよう、千葉県平均工賃はもちろんのこと、明朗ワークスの昨年度実績を上回ることを目標に取り組んでまいります。

障害者就業・生活支援センター
就職するなら明朗塾
センター長 山口 諭



令和5年4月にセンター長に就任いたしました。これまでは就職するなら明朗アカデミー・佐倉キャンパスの事業管理者をしておりました。今年度はこれまでの経験を活かし、就職支援や雇用支援の卓越した支援技量を獲得するための支援プロセスを確立させ、充実した企業支援、印旛圏域各市町での出張相談会の開催など、地域との関わりを重視してまいります。

就職するなら明朗アカデミー・事業サポートユニット

就職するなら明朗アカデミー・八街キャンパス
キャンパス長 兼坂 渉
(ユニットサポーター)



八街キャンパスの一番の特徴は、併設されているフィットネスジム『サイクルハウス』を活用した運動プログラムにあります。専門のインストラクターも常駐し、本格的な運動機器などを使用したプログラムは、様々な障害のあるお客様に好評をいただいております。

就職するなら明朗アカデミー・成田キャンパス
キャンパス長 高木夢貴



成田キャンパスの特色としては、パソコンの基礎から応用までを学べる「短期ICTスクール」にあります。Word・Excelの資格取得を目指して、お客様が日々学習されています。令和5年度は、コース内容の大きな改革を予定していますので、生まれ変わる「短期ICTスクール」にどうぞご期待ください。

就職するなら明朗アカデミー・佐倉キャンパス
キャンパス長 木内正弘
(ユニットサポーター)



令和5年4月から、1年半ぶりに再び佐倉キャンパスの事業管理者を務めることになりました。佐倉キャンパスを取り巻く環境が以前とは変わっていますので、現在の環境にあわせた新しい佐倉キャンパスを作り上げます。そして、職員と一丸となって、より多くの障害のある方々の就職の支援をいたします。

就職するなら明朗アカデミー・白井キャンパス
キャンパス長 森田拓実



白井キャンパスの令和5年度の目標は、お客様が心から通所したくなる事業所づくりです。お客様の声を第一に、様々な改善を図っていきます。また、今まで通所することが困難なお客様には、送迎サービスを実施いたします。今年度は進化の一年とし、これまでに以上によりよい事業所を目指していきます。

イノベティブ・サポートセンター

法人総務部
管理・メンテナンス室
部長 鈴木幸子



光明会行動指針5則が今年度新たにその意味を携え示されました。「立志」である親指は、「挑戦」の人差し指、「卓越」の中指、「勤勉」の薬指、「素直」の小指、どの指にも唯一繋がり、寄り添うことができます。そして、組織として、その親指の役割を求められているのが、法人総務部を主としたイノベティブ・サポートセンターです。各部署のパイプ役を担いながら、職員と共に、人と地域がつむぐ心豊かな福祉社会をデザインしていきます。

地域共生社会推進本部
部長 小澤孝延



地域共生社会推進本部では、新型コロナウイルス感染症蔓延による様々な制約がかかった日常生活を余儀なくされたことからの学びを活かし、人と人との繋がりの大切さ、年齢や性別をはじめ、国籍、妊産婦、高齢者、障害者等が互いに支えあい、無くてはならない存在となるような地域共生社会の実現を目指しています。そのために福祉業界に留まらず、地域との繋がりを広く、そして太くしていけるよう活動をしていきたいと考えています。

ICT推進室
室長 岩澤芽実



ICT推進室は、室員全員が法人のヘルプデスクの役割を担っています。光明会で使用しているLINEWORKSやDocuWorks、あしたのクラウドなどの情報ツールをより効率的に確実に進められる方法を模索し、職員が安心して業務を継続することができる環境づくりに努めています。また、ICT推進室は、研修チーム（研修の企画・実施）と情報規程チーム（情報機器等使用規程の再編・TeachimeBizを活用した手順書作成）に分かれ活動しています。

コンプライアンス室
室長 高橋沙織



現代社会において、人々の生活秩序を守るためのコンプライアンスは大変重要なことであり、光明会においてもお客様と職員の権利擁護のためには欠かせないものであります。当室への通報や相談においては、先入観や偏見は大変危険なため、客観的な視点での事実確認を徹底しております。令和5年度は、さらに権利擁護のための仕組み改善を行います。健全な組織体を目指し、法令遵守を超えた活動を目指します。



障害者雇用への想い
ステップアップのために成長する
株式会社 幼稚園給食

▲ 島瀬悠基氏

▲ 佐藤スクワンさん

▲ 旗 優子 氏

「健やかな子供の育成に寄与することをもって社会的使命とし、共に成長する」

“毎日の生活において、私たち大人にとっても「食」は楽しみのひとつであり、健康的な生活を送るためにはとても大切なことです。特に発育中の子どもたちには様々な食材を使った、栄養バランスの良い食事を摂ることが不可欠であると考えています。(中略)弊社では給食の盛り付けや弁当箱にもこだわり、子どもたちにとって「美味しい」だけでなく「見て楽しい給食」をつくることを心がけています。保護者の皆様が安心できる給食、子どもたちが喜んで食べてくれる給食、そして、毎日幼稚園に行くことが楽しみになる…。そんな給食をつくり続けることが、私たちの願いです。” (ホームページ <https://y.kyushoku.co.jp/gaiyo.php> 給食づくりの理念より)

株式会社幼稚園給食は、千葉県及び茨城県を中心に約325園の幼稚園、保育園、こども園へ給食を製造してお届けしています。給食の製造は千葉県船橋市、佐倉市、茨城県龍ヶ崎市の3つの工場で行っています。

創業者の方は「幼稚園に給食が欲しい」という声に応えて、千葉県で初めて幼稚園専門の給食センターを設立されました。

このたびは、取締役副社長 島瀬悠基氏、佐藤スクワンさん、栄養士 旗 優子氏にインタビューを行いました。

一人ひとりの特性を活かした仕事

(島瀬悠基氏) 現在弊社では、身体障害者手帳のある方2名、療育手帳のある方1名、精神保健福祉手帳のある方1名が働かれています。障害者雇用では障害者一人ひとりの特性を活かした作業を選定しています。作業内容は給食の仕込みや盛り付け、炊飯工程、工場周辺的环境整備を行っています。給食をつくる工程上、夜間帯の仕事を担当されている方もおられます。障害者用の作業を用意するのではなく、健常者と同じ作業内容を提供して、仕事における戦力として担っていただくことを心がけています。



▲笑顔でインタビューに応じる島瀬取締役副社長



▲給食の盛り付けを行う佐藤スクワンさん

長く働きつづける環境を整える

(佐藤スクワンさん) ベルトコンベヤーから流れてくる容器に給食を盛り付ける仕事を行っています。会社の方は理解があって働きやすいところです。

(旗優子氏) 佐藤さんは丁寧な仕事ぶりを見せてくださって優秀な方です。

(島瀬悠基氏) 障害者・健常者と分け隔てなくお互いが信頼しあえる環境で仕事に励んでおられます。ご本人の気持ちの面を支えることが大切です。定期的に面談を行って仕事上での困りごとや悩みを聞く場をつくっています。また、長く働きつづけるために勤務時間を調整することも大切な部分だと思っています。

会社のステップアップのために

(島瀬悠基氏) 障害者雇用を始めるきっかけとなったのが、障害のある方が手書きの履歴書を持って会社を訪ねてこられたことでした。自ら行動して会社を訪ねてこられたことに熱意を感じました。与えられた仕事に対して一生懸命に取り組む姿を見て感銘を受け、我々が障害に対して持っていた偏見が間違えていたと振り返る出来事でした。実際に就労した際に、最初はどのようにして指導や指示を出したらよいか悩むこともありました。従業員に対して障害者に対する理解を求めなければなりません。何度も壁にぶつかることもありましたが、障害者雇用を始めたことを会社、組織、社員の成長につながると前向きに捉えて一つずつ乗り越えていきました。今では現場のリーダーに当たる職員が率先して関わっています。新たに障害者雇用を始めるには不安があると思います。しかし、障害を持っていても一人ひとりが持つ能力が、会社の戦力として貢献できる可能性を秘めています。会社のステップアップと捉えて障害者雇用に挑戦する企業が増えることを願っています。

(文責 就業支援担当 吉田 翔)

和心探訪 ～自然（花鳥風月）を学ぶ～

光明会職員が日常の支援業務から一旦離れ、光明林の中を一人静かに散策することによって日常では感じ取ることのできない、穏やかに風になびく木々の声、虫や鳥が奏でる音色に耳を傾け、恵雨に体を濡らし、時には暴風の中で荒々しい砂塵に目をつむり、穏やかな自然と厳しい自然に身をゆだね、自然からのメッセージを受信できるよう、感性のチューニングを行いました。

感性を研ぎ澄ませ、天啓を受け取ることは、古来より紡がれてきた言葉の持つ力を敬い、清く正しく美しい言葉を身につけることにつながります。清く正しく美しい言葉を見つけた職員の言葉はきっと顧客の利他的行動を引き出す「言霊」へと深化していくことでしょう。そのためにわれわれの和心探訪はこれからも続いていきます。

（感性のチューニングをした光明林）



自然の中だと会話が弾みます！ 久しぶりの対面研修でニコリ!! 自然エネルギーを感じます！

（和心探訪の企画趣旨）

今年度の和心探訪（昨年度まで12年継続した日帰り合宿を改称）のテーマは「天啓を読み解く」としました。日本の伝統精神（神道）は、恵み深い自然と祖先の霊を崇拝するものであり、私たち日本人共通の心根です。今年度の経営方針書の1-3組織の目的の項では、社会に勤労観と職業観を伝道する使命のためには言葉を敬い言葉の教養を重んじることが大切であることを強調しています。顧客の利他的行動を引き出す支援に向けて古来より紡がれてきた言葉の持つ力を敬い、清く正しく美しい言葉を身につけることでその支援の卓越性を追求しようと確認しました。

天啓とは、ものの形や現象（自然）から直接五感と第六感で得るものです。恵み深い大自然から天啓を得て、実生活に生かしていくことが日本人ならではの生活の知恵なのです。これは、本や人からは学べないものであり、自然の中に身を置いて自分で感じ取るものです。

言葉を磨く正しい方法の一つとして、自然（花鳥風月）から天啓（神の言葉）を受け取ることを体験していただきました。正しい言葉遣いは、語彙を豊富にすること、ものの言い換えを学ぶことではなく、静かに自らの感性を研ぎ澄まし自然からの天啓を受けることで、少しずつ身につけられるのです。

（文責 専務理事 内藤 晃）

正しい目標設定が成長の鍵！

～あしたのチーム・全職員サポーターへの挑戦～

光明会では、あしたのチーム社のゼットAI評価システムを活用した「目標達成支援制度」を導入しています。この目標達成支援制度では職員一人ひとりの行動を、どのような成果を得たいのかという明確な数値で表す成果目標と、その成果を実現するためにどのような行動するのかというコンピテンシー（成果の上がる行動特性）を行動目標として設定し、仲間と共に取り組んでいくものです。



これまではこの行動目標に対しては職員が「チャレンジャー」として、各事業所の上長が「サポーター」として職員一人ひとりの行動を支える仕組みで取り組んできましたが、今年度からは「全職員サポーター体制」をスタートさせました。すべての職員がチャレンジャー、そしてサポーターとして互いに支援し合う関係性の中で、良き人間性に基づいた卓越した支援技量の習得を目指します。また目標設定については、行動目標2つ（推奨項目：専門知識／革新技術の習得・業界で一流といわれる知識と技能習得を目指す）と成果目標1つ（リーダー以上は2つ）を設定し取り組むこととしました。

この目標達成支援制度で重要となるのが、行動目標が成果目標につながり、かつ明確な行動を設定できているかの点にあります。ここでは望ましい行動目標の設定方法について解説いたします。

まずは、よい行動目標には「**3つの要素**」があることを理解します。

- ①方向性：法人の経営方針に即していること
- ②難易度：行動スコア判定期間中に実施する適切な難易度であること
- ③具体性：行動目標が抽象的でなく測定・判定可能であること

続いて、行動目標設定の「**5つのポイント**」を踏まえて、行動目標を策定します。

- ①成果目標を高めていくための過程が明確になっていること
- ②現状はできてはいないが、努力し適切に遂行すれば達成できる難易度であること
- ③心構えや意欲ではなく、行動を定めること
- ④行動の箇条書きは避け、行動を1つに絞り込むこと
- ⑤100文字程度を目安に行動を規定すること

これらを意識し行動目標を設定し取り組むことにより「何となくやっている」から「目標に向かってやっけていく」へとレベルアップさせることができます。行動目標の一例は下記のとおりです。

（行動目標の例）

チャレンジ性

生活介護事業において「運動」の習慣化を図る。まず日中活動に運動を行う時間を設ける。

週5日（平日）、30～40分の運動プログラムを提供する。内容としては、ポッチャやモルックのparasports、アダプテッドスポーツの提供を行う。提供時は、活動終了時に内容の評価を行って頂き、その振り返りを元に次回以降の運動プログラム内容の検討を行う。

行動目標によって自らの行動をマネジメント（設定した目標に沿って行動する）することができるよう、行動目標の習慣化を図り、各職種での卓越性を追求してまいります。

令和5年度おざわ杯開催！ in 八街ヤングボウル

おざわ杯とは

光明会職員の親睦を深めるための活動です！
八街市にあるヤングボウルでボウリング大会を開催しました！

5月20日 優勝チーム



5月27日 優勝チーム



参加者の喜びの声

- ・始球式で投げる小澤理事長が格好よかった！
- ・他の職員の意外な部分（めちゃうちゃスコアが高かった）を知ることができた！
- ・みんなとボウリングができてとても楽しかった！
- ・テンション爆上がりだった！

文責 高木春佳 栗原徹